

## USPTO、人道的課題を解決する商標の保有者を表彰するプログラムを創設

2023年4月14日  
JETRO NY 知的財産部  
石原、福岡

USPTOは商標を利用して人道的課題の解決に貢献している商標の保有者を表彰するプログラムである「Trademarks for Humanity」を創設したと発表した。4月10日付のプレスリリース<sup>1</sup>で発表された。このプログラムは特許を利用して人道的課題を解決するイノベーターを表彰するプログラムである「Patents for Humanity」<sup>2</sup>を参考に創設されている。

初回となる今回は環境問題に焦点を当て、商品やサービスを通じて環境問題を改善する商標の保有者を表彰する。将来的にはPatents for Humanityのように様々な課題を対象とする予定としている<sup>3</sup>。

プログラムの申請にあたって、申請者は使用する商標がどのように環境問題の解決に関連しているか、また、申請者が提供する商品・サービスがどのように環境の改善に寄与しているかについて説明する必要があるとしている。環境に関するあらゆる商品・サービスを対象としているが、例として以下が挙げられている。

- リサイクルや環境に配慮した素材やサービス
- 再生可能エネルギー、グリーンテクノロジー、水質浄化、森林再生、炭素排出の回収、汚染削減ソリューションに関連するサービス
- 環境に配慮した基準または材料の使用を奨励するための認証マークの発行
- 環境に関するベストプラクティスをトレーニングするサービス

申請方法、参加資格や審査基準については、USPTOのウェブサイト<sup>4</sup>に掲載されている。申請は4月11日から7月14日まで、または応募件数が200件に達するいずれか早い日まで受理するとしている。

USPTOのVidal長官は「世界の人々は、汚染、温室効果ガス排出、森林破壊、気候変動、その他多くの環境問題の解決のために努力している。様々な背景を持つブランドオーナーにこの賞に応募してもらい、世界をより安全でクリーンな場所にするために商標を使用している人たちを応援したい」と発言している。

(以上)

<sup>1</sup> USPTO announces new Trademarks for Humanity awards competition

<sup>2</sup> [https://www.jetro.go.jp/ext\\_images/\\_Inews/us/2022/20221220.pdf](https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Inews/us/2022/20221220.pdf)

<sup>3</sup> Patents for Humanityでは、Medicine (医薬等)・Nutrition (栄養)・Sanitation (衛生)・Household energy (家庭用エネルギー)・Living standards (生活水準向上)の5つのカテゴリーがあり、パンデミック時にはCOVID-19関連技術がカテゴリーに追加されていた。

<sup>4</sup> <https://www.uspto.gov/ip-policy/trademarks-humanity-awards-program>